



浮羽中学校通信

自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成

【重点目標】～自信をもって何事にも取り組む生徒の育成～

うきは市立浮羽中学校
第 7 号

令和7年8月6日 発行
文責 校長 竹並俊和

平和への誓い、未来への架け橋：戦後 80 年の夏に

深い緑に包まれた夏、今年もこの日が巡ってきました。8月6日。広島に原子爆弾が投下されてから、今年で80年の節目を迎えます。私たち日本の社会が、そして世界が、この80年という歳月の中で、どれほどの変化を遂げてきたでしょうか。80年前の今日、広島、そしてその3日後には長崎で、多くの尊い命が一瞬にして奪われました。焦土と化した街、途絶えた日常、そして深い悲しみと絶望。その中で当時の人々は未来への希望を捨てず、懸命に立ち上がりました。私たちは、その平和への強い願いと、未来を切り開いてきた先人たちの努力の上に、今の豊かな生活を送ることができています。私たちが生まれるはるか昔の出来事であり、もしかしたら遠い歴史の話だと感じるかもしれません。しかし、この8月6日は、単なる過去の出来事を振り返る日ではありません。戦争の悲劇を二度と繰り返さないという平和への誓いを新たにし、私たちが未来に向けて何をすべきかを考えるための大切な日です。私たちは今、平和な日本に生きています。しかし、世界の各地では、今も争いが続き、困難な状況に置かれている人々があります。この現実を目に向け、平和の尊さを深く心に刻むこと。そして、身近なところから、お互いを尊重し、助け合う心を育むこと。これこそが、未来を担う皆さんの大切な役割です。

この夏休み、家族や友人と過ごす中で、あるいは普段の生活の中で、平和について考える時間を持ってみてください。歴史から学び、現在の世界に目に向け、そして未来の平和のために自分に何ができるのか。一人ひとりが小さな行動を積み重ねることが、大きな平和へと繋がるはずです。80年前の悲劇を忘れず、平和な未来を築くために、私たち一人ひとりができることを考え、行動していきましょう。

栄光の舞台へ！男子ソフトテニス部、県大会出場！

この夏、浮羽中の運動部活動から、また一つ、素晴らしいニュースが届きました。これまで、陸上部、水泳部、柔道部、ソフトボール部の県大会出場を学校通信でお伝えしてきましたが、この度、男子ソフトテニス部が、見事、県大会出場を決めました！7月19日（土）に朝倉市甘木テニスコートで開催された筑後地区中体連総合体育大会ソフトテニス大会において、男子ソフトテニス部が団体戦で3位という素晴らしい成績を収めました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、チーム一丸となって戦い抜いた結果です。選手の皆さんのひたむきな努力と、それを支える顧問の小西先生、そして保護者の皆様の熱い応援に心から敬意を表します。県大会は7月29日に博多の森テニスコートで行われました。地区大会での経験を胸に、一球一球に集中しプレーをしてくれました。



【県大会開会式 博多の森テニス競技場】

英語の夏！イングリッシュキャンプで国際交流を体験！

夏休みに入り、学校では様々な活動が行われています。その中でも、先日3日間にわたって開催されたイングリッシュキャンプは、生徒たちの生き活きとした表情と英語が飛び交う、大変有意義な時間となりました。1年生から3年生までの30名の生徒が参加し、ボーダリンク（うきは市へのALT派遣会社）が主催するこのキャンプで、生徒たちはネイティブイングリッシュを肌で感じる貴重な体験をしました。ボーダリンクの先生方6名（外国人講師）に加え、小学校の英語専科の先生方も参加してくださり、充実したプログラムとなりました。

ゲームやアクティビティを通して、生徒たちは積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうと努力していました。はじめは少し緊張していた生徒も、時間が経つにつれて笑顔が増え、楽しそうに英語で会話している姿は、私にとっても非常に印象的でした。英語を「学ぶ」だけでなく、「使う」楽しさを実感できたことでしょう。今回のイングリッシュキャンプは、英語力向上のためだけでなく、異文化理解を深め、国際的な視野を広げる素晴らしい機会となりました。この経験が、生徒たちの今後の学習意欲や、将来への夢へと繋がることを心から願っています。



【イングリッシュキャンプ1場面】



【講師の先生方】



【参加したみんなさん】

中学生弁論大会で吉瀬さんが大活躍！

7月26日（土）にみやま市マイピア高田で開催された筑後地区青少年弁論大会に、本校3年生の吉瀬莉希さんがうきは市代表として出場しました。うきは市の大会で最優秀賞に輝いた吉瀬さんは、「かけがえのない命と私」と題した素晴らしい弁論を披露してくれました。自宅で飼っている愛犬チャムとの出会いをきっかけに、動物の命について深く考えたことを、豊かな表現力と堂々とした態度で発表しました。聴衆が引き込まれるような感動的な弁論で、吉瀬さんの思いがまっすぐに伝わってきました。この素晴らしい経験は、今後の学校生活においても、吉瀬さんにとって大きな自信となることでしょう。



【演説の様子 於 マイピア高田】

今年の夏、県大会での熱い戦い！

今年の夏も、各運動部の皆さんが県大会という大きな舞台で全力を尽くしてくれました。7月27日から31日までの期間、陸上部、水泳部、柔道部、ソフトボール部、そして男子ソフトテニス部の皆さんが、日頃の練習の成果を発揮し、熱い戦いを繰り広げてくれました。県大会に出場することはとても難しいこと、本当に素晴らしいことです。地区大会を勝ち抜き、福岡県という広い舞台で他の強豪校と肩を並べて戦った経験は、皆さんの今後の人生にとってかけがえのない財産となるでしょう。勝敗の結果に関わらず、これまでの努力、仲間との絆、そして最後まで諦めずに挑み続けたその姿勢こそが何よりも尊いものです。選手の皆さん、本当にお疲れ様でした！この夏、皆さんが流した汗と涙は、必ず次への成長の糧となります。この経験を胸に、これからもそれぞれの目標に向かって努力を続けてほしいと願っています。

仲間との絆がくれた感動

今大会では、多くの部活動が粘り強いプレーを見せ、私たちに感動を与えてくれました。特に、ソフトボール部は福岡県大会でベスト4まで勝ち進み、あと一步で九州大会出場というところまで迫りました。また、陸上競技では1年女子800mで白石莉乃さんが、水泳では男子400mメドレーリレー（田中絢都・馬田響大・諫山太樹・廣底侑）男子400mリレー（田中絢都・馬田響大・廣底 侑・諫山太樹）、個人6種目（男400m自由形・男1500m自由形：馬田響大さん、男1500m自由形：廣底侑さん、男100mバタフライ：田中絢都さん、男200mバタフライ：諫山太樹さん、女100m平泳ぎ・女200m平泳ぎ：江藤侑里さん）で、柔道女子軽量級では山手潤音さんが2回戦まで進み、そして男子ソフトテニス団体1回戦最後の最後まで粘り強く戦いました。

どの部活動、どの選手も日々の練習の成果を存分に発揮してくれました。

大会後、男子ソフトテニスの外部コーチをされている樋口和親先生が、こんな言葉をかけてくださいました。「この子たちは本当に仲が良いです。3年生になって転入してきた子もありますが、私が厳しいことを言っても、子どもたち同士が励まし合ってくれました。小西先生も含め、そこにチームとしての強さがあると思います。」この言葉を聞いて、私はとても嬉しく思いました。部活動を通して築かれた仲間との強い絆が、子どもたちの成長に繋がっていることを改めて実感しました。3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、素晴らしい感動をありがとう。



【男子テニス県大会 博多の森テニス競技場】

地域との連携で生徒を見守る！えびす祭り街頭補導に感謝

夏休みに入り、地域のあちこちで様々なお祭りが開催され、活気に満ちています。7月20日（日）には、浮羽町で「えびす祭り」が盛大に行われ、多くの地域住民の方々に賑わいました。

このえびす祭りにおいて、浮羽中学校のPTA地域委員会の皆様が、生徒たちの安全を見守るために街頭補導を行ってくださいました。19時から20時までの1時間、2つの班に分かれて地域の巡回をしていただき、生徒たちが安全に、そして安心して地域のお祭りを楽しめるよう、温かく見守っていただきました。

PTA地域委員会の皆様の献身的な活動は、生徒たちが健全に成長していく上で不可欠なものです。保護者の方々が、こうして生徒たちに目を配り、声をかけてくださることは、学校だけでは行き届かない部分を補い、地域全体で子どもたちを育むという素晴らしい環境を作り上げています。

お忙しい中、生徒たちのために活動してくださったPTA地域委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも、地域と学校が連携し、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。